

西中だより

教育目標

豊かな心と学ぶ意欲を持ち、たくましく生きる生徒(目撃者)
「確かな学力、豊かな心、健やかな身体をはぐくむ、
伝統と誇りの西中学校」

川口市立西中学校

〒332-0028

川口市宮町1 6-1

Tel 048-253-1231

Fax 048-251-6792

相談室 253-1247

発行日

令和3年7月1日

人が環境をつくり、環境が人を育てる

校長 三浦 伸之

あいさつには3つの働き(よさ)があると聞いたことがあります。その3つとは、相手にいい印象を与えること、相手の存在を認めること、自分の存在を明確にすることです。私はこの3つの中で、「相手の存在を認めること」があいさつの一番のよさだと思っています。

「あいさつの声が響く学校」とよく言いますが、あいさつの声が響く学校とは、一人一人の存在をみんなが認めている学校ということになるのではないのでしょうか。おはようございます、こんにちは、こんばんは、さようなら。ありがとう、ごめんなさいなど、決して多くを語らなくとも、相手に対する気持ちを伝えられるほんの短いそれらの言葉をこれからも意味あるものとして、生徒たちとともに大切にしていきたいと思います。

そのような中、とても印象的なあいさつをする生徒がいます。その生徒はいつでも自分から進んで人一倍大きな声であいさつすることはもちろんですが、遠くに離れている人に対しても、声が届くのかな、気づいてもらえるのかなというような距離でもあいさつをします。その日は残念ながら気づいてはもらえませんでした。日は変わってもいつもと変わらぬ生徒の姿がありました。

見返りを求めずに純粹にあいさつをするその生徒の姿勢を私も見習いたいと思います。

さて、約1か月前のことです。毎年恒例となっている荒川河川敷の土手の草刈りが行われました。生い茂っていた雑草が一気に刈り取られ、すっきりとした姿となりました。野球部やサッカー部のボールが練習中に雑草の中に入り、苦勞していた生徒たちの姿を思い浮かべるとほっとした気持ちにもなれました。

そのような姿になった土手を校舎の中から眺めていたところ、至る所に飲料の空き缶やペットボトルなど、様々なゴミが散乱してる光景を目の当たりにしました。雑草の中に埋もれていたそれらのゴミは草が刈り取られたことで姿を現したのです。

土手は広々とした空間が広がり、開放感を満喫できる憩いの場所です。毎日、多くの方々が散歩やランニング、自転車などで土手の上を行き来しています。西中学校の生徒たちも毎日、体育の授業や部活動で土手を越えて堤外グラウンドへ足を運んでいます。やはり、無造作に捨てられたゴミやたばこの吸い殻などはあまり生徒たちの目には触れさせたくないものです。

海外から日本を訪れた方々は日本の街のきれいさに驚くといひます。私たちには生活習慣として自分たちできれいにするという美意識があります。共有の場所はみんなできれいにし、自分のものは自分で片づけるといった生活習慣は、学校や地域の清掃活動などや、それぞれの家庭で培われてきました。西中学校区の街はいつでもきれいさが保たれており、美意識がとても高い地域だと強く感じています。

その他にも私たちが生活する身の回りには、言語環境や人権に関する環境、ルールを守る環境など様々な環境があります。それぞれの環境を整えることにより、学校や地域、家庭で生徒たちを育み、やがて次世代を生きる生徒たちがよい環境をつくりだす担い手となってくれることを切に願っています。

